

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立 浮羽究真館 高等学校

79

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>郷土を愛し、地域の発展に寄与する次世代のリーダーを育成する学校 ・地域に開かれ地域と密接に連携した教育活動を通して、自立して生きる力や課題解決能力、郷土愛を持ち、地域の活性化に貢献できる人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<p>○ 郷土愛にあふれ、自分自身や地域の未来を切り拓いていく強さを身に付け、地域や社会で必要とされる人材の育成</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<p>○ 進学から就職まで幅広いニーズに対応した学系の設定 ○ 地元企業と連携し、地域をフィールドとした学習の推進 ○ 総合的な探究の時間での地域課題解決型学習の推進 ○ 生徒会活動や学校行事などを通したリーダーの育成</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<p>○ 自らの目標に対して真面目に努力し続ける人 ○ 地域の課題解決に興味・関心がある人 ○ 部活動や生徒会活動、ボランティア活動を頑張りたい人 ○ 被服・調理・保育・商業に関心のある人</p>

学校運営計画(4月)

<p>学校運営方針</p>	<p>校訓「立志・錬磨・不愧」の精神に基づき、うきは市唯一の県立高校として、地域を愛し、地域に育てられたことに感謝し、地域の活性化のために貢献するとともに、生徒一人一人が自己実現を果たし、未来の地域発展に寄与する次世代のリーダーとなることを目指す教育を行う。</p>		<p>評価 (総合)</p>
<p>昨年度の成果と課題 うきは市唯一の県立学校として、地域と連携した取組やプロジェクトをさらに強化し、地域に愛され、地域から求められるような学校創りをより進めていく。また、昨年度は整備された一人一台端末を用いた調べ学習や生徒同士の意見交換など、ICTを積極的に活用した授業を推進してきた。今後は、ICT活用の効果を検証しながら、個に応じた質の高い授業を展開していくことが課題である。生徒が学校行事や部活動を通して、主体的に考え行動し、コミュニケーションをとりながら協働する場をたくさん設定し、自尊感情や奉仕の精神などの豊かな人間性を育んでいく。</p>	<p>年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>	
	<p>・予測困難な未来にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成</p>	<p>「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、特色ある4つのコースのさらなる充実を図り、地域と協働しながら、これからの社会で求められる資質・能力を持った人材を育成していく。</p>	
	<p>・将来の夢や志を育み、その実現を目指すキャリア教育の実践</p>	<p>地域の課題や取組と連動させながら「総合的な探究の時間」の内容を充実させ、3年間を見通した体系的なキャリア教育を実践していく。</p>	
	<p>・規律と責任を重んじ、自主性や主体性を育てる生徒指導</p>	<p>生徒会活動や学校行事を充実させ、生徒一人一人が輝く場を設定するとともに、いじめや不登校等の未然防止、早期発見・対応に務めていく。</p>	
	<p>・専門的知識・経験を有する外部人材を含む「チーム学校」の構成</p>	<p>SCやSSW等の専門家と連携を密にするとともに、地域の人的資材を活性化させ、組織として生徒を見守っていく環境を構築していく。</p>	
	<p>・家庭や地域から愛される学校運営と積極的な広報活動</p>	<p>うきは市唯一の県立高校として、うきは市との連携をさらに強化し、地域とともに歩み、地域から愛される学校創りを目指していく。</p>	
	<p>・新たな時代の学びを支える教育環境の整備</p>	<p>授業の中で、ICTや一人一台端末を有効的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組んでいく。</p>	
<p>・部活動やボランティア活動への積極的参加の推進</p>	<p>部活動やボランティア活動の積極的な参加を促し、生徒の自主性を育みながら、自己肯定感や自己有用感を高める指導を行っていく。</p>		

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
学習指導	学習における究真館三原則の徹底	家庭と連携して軽微な遅刻をなくし、遅刻率5%以下を目指す。	出席統計より判断	
		環境の整備を徹底し、教室や廊下の美化を図る。		
		黙想指導や挨拶を徹底し、授業規律を確立する。		
学習指導	学ぶ力を育成するための授業改革	ICT機器を活用し、授業効率を高める。	授業アンケート	
		主体的、対話的で深い学びの実践を通し、「分かる」授業を目指す。		
		「指導」と「評価」の一体化を目指し、「適切な評価」を実践する。		
生徒指導	基本的生活習慣を身に付けさせ、人間力の向上	時間厳守、挨拶励行、清掃徹底で人間性を高める。	出席統計より判断 学校満足度調査	
		面談やアンケートで生徒の変化を捉え、いじめ重大事態0を目指す。		
		社会や交通のマナー等に対する意識の向上を図り、人間性を高める。		
生徒指導	生徒会行事、部活動、ボランティア等の活性化	運動会や鷹取祭など学校行事の運営を生徒主体で行う。	学校満足度調査 活動実績より判断	
		ボランティア活動や地域の行事に年間3回参加し生徒の社会性を培う。		
		PTA、うきは市、警察等の地域機関との連携を月1回以上行い、連携を強化する。		
進路指導	キャリア教育の推進	希望進路の100%実現を目指す。	進路実績から判断	
		進路希望調査を年間2回行い、希望進路に応じた進路ガイダンスを実施する。		
		進路の手引き「鷹取」をHRで活用し、進路に関する意識を高める。		
進路指導	進路実現に必要な学力の定着	実力養成講座・校外模試などを計画し、学習意欲の向上を図る。	学校満足度調査	
		面接や小論文の指導を計画し、進路実現に繋げる。		
		Classilによる課題の配信などを活用し、個別最適な学びの指導を行う。		
庶務	学校行事の計画と円滑な実施、書類の正確な作成	式典・行事・儀式は各部署と連携し、1か月前を目途に計画する。	学校行事振り返りアンケート	
		職員への情報伝達にICTを活用し、紙媒体を前年度から50%削減する。		
		できるだけ仕事を分担し、負担が集中することのないようにする。		
庶務	PTAや同窓会との連携	PTAや同窓会と話し合い、行事等の適正な在り方を検討する。	学校満足度調査・PTAアンケート	
		PTA役員との連絡はICTを活用し、文書を前年度から50%削減する。		
		同窓会と連携して、創立20周年行事を成功させる。		
学校活性化推進	生き生きとした生徒の姿や本校の魅力の発信	ホームページやSNS等での発信を年間200回以上する。	体験入学参加者アンケート	
		究真館だよりを年間5回以上発行し、生き生きとした生徒の姿を発信する。		
		体験入学の参加者を200名以上にし、本校の魅力を伝える。		
学校活性化推進	地域に根差した活動の充実	うきは市役所職員との面談を年間12回以上実施し、連携を強化する。	課題研究発表会アンケート うきうきスポーツ教室アンケート	
		課題研究発表会や地域連携事業を推進する。		
		うきうきスポーツ教室の参加者を100名以上にする。		

様式3

保健環境	心身の健康教育活動の推進	定期健康診断を計画的に実施し、健康の保持増進に努める。	保護者向け生活アンケート	
		健康相談を適宜実施し、諸行事における事故等を未然に防止する。		
		教育相談委員会を年間5回開催し、諸問題の未然防止や早期解決を図る。		
保健環境	環境美化意識の向上	美化コンクール等を学期に1回は実施し、生徒の美化意識の向上を図る。	日々の清掃状況から判断	
		美化委員会を中心とし、校内美化に関する積極的な取り組みを図る。		
		定期的に清掃点検活動を行い、学習環境を整える。		
研修	ニーズに応じた職員研修の実施	各分掌と連携し、職員研修を年3回以上実施する。	学校満足度調査	
		教育センターの研修など各種研修案内を行い、参加を推進する。		
		外部研修の案内を確実にし、教員の資質向上を促す。		
研修	人権教育を充実させ、図書室の活用を促進	日々の教育活動の中で生徒に適切な人権感覚を身に付けさせる。	学校生活アンケート	
		図書室の情報発信を月に1回行い、利用を推進する。		
		活用促進の校内放送を年1回以上行い、図書委員会の活性化を図る。		
第1学年	基本的生活習慣の確立と基礎学力の涵養	「時を守り」の指導を徹底し、学年の遅刻率を5%以下にする。	出席統計より判断 学校満足度調査	
		自ら進んで挨拶と清掃に取り組めるよう、クラス委員等のリーダーの育成を行う。		
		ICTの活用をさらに推進し、魅力的且つ効率的な授業を行う。		
第1学年	進路目標の確立と適切な学系選択の支援	上級学校関係者などの講師招聘を年3回以上行い、生徒の視野を広げる。	学校満足度調査	
		4年制大学を含む、2校以上のオープンキャンパス参加を目指す。		
		三者面談や学系説明会を通して、進路目標に適した学系選択を支援する。		
第2学年	基本的生活習慣の確立と基礎学力の定着	求真館3原則を意識させ、学年の遅刻率を5%以下にする。	出席統計より判断 学校満足度調査	
		ICT教材やClassiなどを用いて生徒個人に応じた指導を行う。		
		校外模試の受験や各種検定試験の受験を奨励する。		
第2学年	進路実現に向け、目的意識を育成	インターンシップやオープンキャンパスに参加し、進路目標を明確にさせる。	学校満足度調査	
		課題研究発表を通して、生徒の探究心やICT機器の活用力を育成する。		
		二者面談や三者面談を通じて、生徒・保護者に進路意識の向上を促す。		
第3学年	進路実現	生徒の希望進路100%実現を目指す。	進学就職率 学校満足度調査	
		ICTの活用や生徒の情報共有をすることで、個に応じた指導を行う。		
		各分掌と連携し、進路ガイダンスの実施や小論文・面接指導を行う。		
第3学年	人間力の育成	求真館三原則に則り、5分前行動、身だしなみ、挨拶を意識させる。	出席統計より判断 学校満足度調査	
		学校行事や学年集会などで活躍できる場を設定する。		
		校外模試やボランティア活動への積極的な参加を促す。		